

取り付け手順書

製品名 不動王

型式 FFT-001(L型固定式不動王)

1. 製品の特徴

- ・ウレタンフォームが地震による揺れを吸収し、家具、食器棚の転倒を防ぎます。
- ・くぎ、ビス、接着剤を使わないので、壁や家具を傷めません。
- ・道具を使わず取り付け簡単です。

2. 製品を取り付け可能な対象物

2-1) 家具・什器類の種類

本棚、食器棚、オフィス棚(スチール棚)、下駄箱、キャビネット、サイドボード、テレビ台、パソコンラック、洋服タンス、クローゼット、冷蔵庫(天板が平面なもの)等

2-2) 材質の種類

①取り付け可能な家具の材質

木材、合板、ベニヤ板(ニス塗り、塗装品を含む)、スチール材(塗装品を含む)、プラスチック

②取り付け可能な壁材

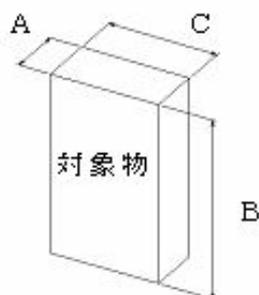
木材、合板、ベニヤ板(ニス塗り、塗装品を含む)、スチール材(塗装品を含む)、塩化ビニル樹脂壁紙、オレフィン樹脂壁紙(PE、PP、EVA樹脂壁紙)、フッ素コートされた壁紙(キッチンまわりなどの汚れやすいところ)、繊維織物でできた壁紙、珪藻土が表面に付着した壁紙、無機質防火壁紙(11階建て以上の建物の内装)

③取付のできない壁材

セメントモルタル、石膏プラスター(表面から砂や粉がはがれる)表面のやわらかい壁紙(指で押すとふかふかとしてはがれやすい)

コルク壁紙(コルクが表面に貼ってある)紙壁紙(和紙ら紙布でできた壁紙)、ふすま、障子など

2-3) 家具・什器類の寸法及び重さ



A(奥行き)	B(高さ)	C(幅)	重さ
30~45cm	180cm以下	100cm以下	115kg以下
45cm以上	215cm以下	100cm以下	115kg以下

注)重さは、内容物を含めた重さです。

- ・キャスター付の場合は、市販のキャスター用ストッパーを併用。
- ・パソコンラック、テレビ台等に取り付ける場合は、接着する天板及び側板が、本体に確実に固定されていること。
- ・冷蔵庫に取り付ける場合は、キャスター部にストッパーを付けるか、アジャスター部分を粘着シート等で床に固定する。

3. 製品の取り付け方法

【天板取り付け】と【側面取り付け】の2種類の取り付け方法があります。家具の天板が取り付けにくい状態であったり、女性やお年寄りなど天板取り付けがあぶないと感じになれば【側面取り付け】をおすすめします。

- ①家具・什器類の中に入っているものを取り出して、できるだけ軽くする。
- ②家具を約20～30cm壁から手前へ床を傷つけないようにゆっくりと移動する。
- ③取り付け部分の汚れ、ほこり、水分、油分をよく拭きとる。
- ④本製品の【小さい方の剥離紙】を剥がして、粘着面を出す。
(スポンジの角を押し込みながら剥離紙を剥がすと剥がし易い)



- ⑤-1【天板貼り付けの場合】
家具天板の左右の端から10～30cmの場所に、それぞれ1ヶずつ家具の背板にそって押し下げようとして粘着面を押し付ける。



- ⑤-2【側面貼り付けの場合】
家具高さの中心から上の側面に、左右それぞれ1ヶずつ粘着面を押し付ける。



- ⑥本製品の【大きい方の剥離紙】を剥がして、粘着面を出す。
- ⑦家具と床を傷つけないようにゆっくりと移動し。スポンジがねじれないように水平に粘着面を壁にしっかりと押し付ける。
この時、家具を2～3回壁に押し付けてから、家具と壁との隙間を約2cmあける。
床が滑りやすい材質の場合は、市販の滑り止めを家具の下に敷いて滑りを抑えると転倒防止効果が高くなります。

4. 製品の取り外し方法

- ①壁との間に手が入る程度まで家具を手前に引き出し、製品の粘着部と壁との間に指を入れて少しずつ剥がします。
製品の粘着部が壁や家具に強く張り付いてしまった場合は、無理に剥がそうとせず、市販のテープ剥がし剤を使用して少しずつ剥がします。
- ②家具側の粘着部を剥がします。

5. 使用上の注意

- ・取り付ける前に、壁及び対象物の取付場所が傷んでないか確認すること。
- ・取り付ける部分に、汚れ、ほこり、水分、油分が残っていると十分な性能が発揮されない場合があります。
- ・日光、風雨が直接あたる場所では使用しないこと。
- ・アルコールやシンナーは製品を変形させるおそれがある為、使用しないこと。
- ・本製品の上にものを載せると、十分な性能が発揮されないことがあります。
- ・家具類の転倒防止以外の用途で使用しないこと。
- ・耐久年数は8年ですが、定期的の確認のうえ必要に応じて交換すること。
- ・大きな地震があった後は、製品に異常がないか確認すること。
- ・取り付け、取り外し時における作業には十分ご注意ください。

6. 備考

本製品は揺れによる対象物の転倒を最小限におさえるものであり、地震などで生じる破損に対しては、一切責任を負いません。
記載してある事項は当社の測定や検証に基づいておりますが、その正確性や完全性について保証するものではありません。